

労働組合をつくろう！職場と社会を変えよう！

集会呼びかけ団体からの訴え



小竹運輸グループ労働組合
中村信幸 委員長

労働者は、今こそ国鉄闘争全国運動の旗をかかげましょう

トレーラーや大型トラックの運転手で作る小竹運輸労組は、この1年間、会社による労働組合つぶし低賃金と残業代不払い、非正規化、解雇、過労死という不当労働行為と安全無視の現実と闘い抜いてきました。これは、運送業界全体、労働者全体の現実を根底から変える闘いでもあります。

こうした現実、国鉄の分割民営化からもたらされました。戦後政治の総決算をかかげる中曽根は、労働組合運動をつぶして憲法を改悪することを目的に国鉄を解体、以来労働運動は衰退し、労働者の人権は碎かれ続け、新自由主義が台頭し今日の職場をもたらしただのです。

私は、声を大にして「国鉄分割民営化は間違いであった」と言いたい。なぜか。

国鉄は国民の無くてはならない交通であって、民間で担うことが出来ない分野なのです。現に北海道は、採算が合わない保線や検査検修という心臓部の労働者を減らしたことで事故が続発。採算が合わない路線を廃止して、結局困ったのは地方に住んでいるお年寄りですね。戦後の焼け野原から苦勞して働いてきた方々がそういう目にあっている。強欲な資本家がすべてを破壊しているのです。

人は誰も食べ物がなくは生きていけません。一番大事な農業をつぶし、山林を疲弊させ、豊かな日本の資源を金もうけのために破壊しているのが資本家と政府です。利益追求でやってきたことのしっぺ返し各地で起きている災害ではないですか。国鉄は国民の財産だったのでしょ、それを政治家や内閣が売り渡すことなど出来るはずはありません。

今こそ国鉄闘争全国運動の旗をかかげましょう。私たちの呼びかける9・28集会へのご参加をお願いします。



国鉄水戸動力車労働組合
石井真一 委員長

労働組合をつくり、団結を守ることができれば、勝つことができます

私たちは、JR水戸支社及びJR貨物で、運転士・車掌・車両メンテナンス部門で働く労働者で組織されている国鉄水戸動力車労働組合です。

1987年に強行された国鉄分割・民営化攻撃は、闘う労働組合を解体し、闘わない御用組合へと転換させる攻撃でした。この攻撃で、職場は団結が破壊され、仲間が自殺するということが起きました。職場の3人に一人が首になる攻撃でした。しかしこの攻撃にすくみ上り、何もできない労組を見限り、労働組合なら真っ向から反対闘争に立ち上がるべきだと40数名で動労水戸を結成しました。

国鉄闘争は今も継続され、動労千葉・鉄建公団訴訟で1047名が解雇されたことが不当労働行為＝違法行為であった事が、昨年東京高裁で明らかになりました。安倍政権が推進する非正規雇用・外注化攻撃は、青年をはじめすべての労働者を食い物にするものです。労働組合をつくり、そこに結集し、解雇・非正規雇用・賃下げなどの攻撃に、会社と闘うことができます。そして団結を守ることができれば勝つことができます。28年間、不当労働行為・外注化攻撃を続けるJRと闘ってきた私の実感です。

みんなで行こう！ 参加者募集中

11・2 全国労働者総決起集会

11月2日(日)正午 東京・日比谷野外音楽堂

国鉄1047名解雇撤回・JR外注化阻止！

集团的自衛権行使ー改憲と戦争の安倍政権打倒！

福島を先頭に全原発の廃炉へ！